

事業名 県単独街路整備事業 都市計画道路池田楠ヶ洞線（楠ヶ洞工区）

1 事業概要

全体事業費：2.8億円
 計画期間：平成30年度～平成35年度
 計画概要：道路延長225m 幅員12m 道路拡幅工

2 目的・必要性

（都）池田楠ヶ洞線は、下多賀地区の公共施設や商業施設等が軒を連ねる中心市街地を貫く幹線道路である。当区間は市立多賀中学校や多賀小学校の生徒が利用する通学路であるが、歩道が整備されておらず、歩行者が危険に晒されているため、安全確保が求められている。

このため、未整備の当区間を改良することにより、道路環境の向上を図るとともに、中伊豆方面との連絡道路として、円滑な交通の確保を図るものである。

3 評価

評価項目	評価指標	評価結果
事業の効率性		1A
路線の位置付け	公共公益施設へのアクセス道路、マスタープラン位置づけ道路	3A
事業の緊急性	他事業と同時施行	2A
事業の必要性	狭隘区間解消、避難路、通学路	4A
事業執行の環境	事業期間、用地補償、地元の取り組み	3A
計		13A

事業名 県単独街路整備事業 都市計画道路 田端宝野線

1 事業概要

全体事業費：18.5億円
 計画期間：平成30年度～平成38年度
 計画概要：道路延長748m 幅員16m 道路改築工

2 目的・必要性

(都)田端宝野線は、都市拠点であるJR袋井駅からJR愛野駅や法多山等の各拠点を結ぶ幹線道路であり、豊沢開発(ふじのくにフロンティア推進区域)等に代表される市域南東方面からのアクセス性の向上及び沿道の土地利用の促進により地域の活性化が期待される重要な路線である。

並行する一般県道袋井小笠線は、近隣に位置する袋井南小学校、袋井南中学校の通学路となっており、隣接する区画整理の事業着手により大型商業施設や良質な住宅地等が築造され歩行者、自動車等の交通量増加が見込まれる地域である。しかしながら、車道幅員は狭隘で歩道が未整備のため危険な状況となっていることから歩行者の安全確保が求められている。

このため、当該区間を整備することにより歩行者の安全性と自転車走行の円滑化を図るとともに、周辺地域の生活環境の向上を図るものである。

3 評価

評価項目	評価指標	評価結果
事業の効率性		1A
路線の位置付け	公共公益施設へのアクセス道路、マスタープラン位置づけ道路	5A
事業の緊急性	他事業と同時施行	2A
事業の必要性	狭隘区間解消、避難路、通学路	3A
事業執行の環境	事業期間、用地補償、地元の取り組み	3A
計		14A